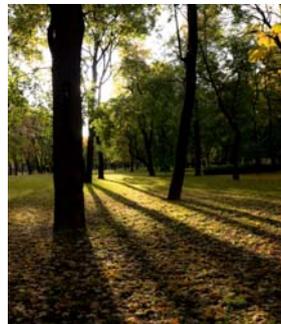


# 近畿支部会報2012年10月秋号

紅葉を始めた木々の葉、青くて清々しい空、今年も快い秋が訪れました。皆様はどんな夏を過ごされましたか。私はポーランドへ行きました。世界遺産である国立博物館アウシュビッツ強制収容所の事が心に焼き付いて残っています。

果てしなく続く大地に立ちそびえる収容所、周囲に張り巡らされている有刺鉄線や監視塔、死者の骨を捨てた池、ここで100万人を超える人が非業の死を遂げました。

貨物列車でアウシュビッツ収容所に送りこまれたユダヤ人の中で、労働の役に立たない女・子供・老人は直ぐにガス室に送られました。男は少量の食事で労働に駆り出され、その中でも屈強な男性は同胞をガス室へ送る仕事等に従事させられました。大量殺人の秘密を守るため、その仕事に一定期間従事すると、彼も又ガス室へ送られました。死体は金歯、髪の毛(絨毯等の原料として売られた)等がはぎ取られた後、焼却炉へ送られました。ガス室や焼却炉の建物は煙突が不気味に天に向かってそびえていました。建物の中には、靴・衣服などの日常品が、壁には送りこまれたおびたしい人の顔写真や、生活の様子を伝える写真が展示されていました。1つの建物には千人位が収容され、3段ベッドでトイレが隅にあります。上階のベッドは人の重みで落ちてきたり、朝、夕2回しか使用を許されていないトイレの臭気が部屋に充満したそうです。



悲惨な歴史を繰り返すまいと、戦後、非常な努力でアウシュビッツ収容所が国立博物館として保存されてきました。又、その運営には多くのボランティアが関わっています。近くには国際青少年の家が建設され、各国から多くの青年が訪れてアウシュビッツ収容所を見学しています。

「過去に目を閉ざす者は、結局の所、現在についても盲目となる。非人間的な行為を心に刻もうとしない者は、又、そういった危険に陥りやすい」(ヴァイツゼッカー)

死の工場であったアウシュビッツ収容所は、今、平和を考える博物館に生まれ変わりました。私も自分の気持ちが風化しないように、平和への思いを持ち続けたいと思います。

今回の会報は次の内容でお届けします。

- |                |                |          |
|----------------|----------------|----------|
| 1、例会報告         | 支部長            |          |
| 2、トラベル報告       | 国内旅行―八ヶ岳―      | 守山市 K.M  |
|                | 私のサーバスゲスト初体験の旅 | 京都市 K.K  |
| 3、トラベラー受け入れ報告  | ドイツからのお客様      | 生駒市 O.Y  |
|                | オージートラベラー受入れ   | 堺市 S.H   |
|                | フランス語でこんにちは    | 東大阪市 M.T |
|                | 昔スタイルの旅行者      | 京都市 H.T  |
| 4、会員交流「北から南から」 | サーバスに入会して      | 京都市 N.K  |
|                | 始めまして、どうぞよろしく  | 京都市 O.K  |
| 5、お知らせとお願い     | 支部長            |          |

## 1、例会報告

日時 : 2012年10月13日  
場所 : カシニョール  
出席者 : サーバス Korea 1名 本部役員2名 支部役員3名  
会員5名 (兵庫1 大阪1 奈良2 京都1) 家族1名  
計12名

秋晴れの1日、サーバス会員 T 様がお自分のお店を提供して下さい、芦屋の高台の素敵な所で例会を行ないました。昼食はお隣のレストランからの刺し身定食、色々な種類、量もたっぷりのお刺身、又、そのお店はお魚が主体であるのか、ブリ大根やお味噌汁にもたっぷりお魚のあらが入っていて、皆満足の昼食でした。ちなみにそのレストランは2時になっても店の前の行列が続いていたので、よほど美味しいのだと思います。

昼食後はサーバスの取り組みの報告会、まずは I さんによる今夏ポーランドで行なわれたサーバスユース会議と観光の報告、続いて H がサーバス国際会議と観光、そして、今春の国内会議の報告をしました。そこで、T さんが美味しいコーヒーを入れて下さり、新入会員の N さんが美味しいお菓子を持参して下さいだったので、ティタイムとなりました。

一息入れた後は、サーバストラベルの報告です。K さんがイタリーへ、T さん、N.Y & K さんがマレーシア、インドネシア、韓国へ行かれました。定刻の4時はおろか、5時を過ぎてはまだまだ報告が続いた内容たっぷりの例会で、始めて参加して下さいました N さんが、「皆様の異文化に触れようとするチャレンジ精神といつまでも人生を謳歌しようとする気持ちに感銘を受けました。」と感想を寄せて下さった程でした。

非常に嬉しかった事は、いつも同じようなメンバーの例会なのに、今回はいろんな人が参加して下さいました。韓国からのトラベラー Y さん、新入会員の N さん、久々に登場の U さん、本当に有難うございました。そして、若い I さん、彼女は大学やバイトで忙しいのに、よく例会に顔を出して下さいます。でも、いつもお相手はおじさんやおばさんばかり、近畿も若い会員が増えて、若者も楽しい支部になる事を願ってやみません。

### 支部長



## 2、トラベル報告

### 国内旅行—八ヶ岳—

守山市 K.M



三月の国内会議でアラスカから参加された T 御夫妻は、我が家に二日間ステイされました。

六月まで日本に滞在されるので、五月に八ヶ岳の山荘に是非にとお誘いをうけました。約千メートルの位置にあり白樺や唐松に囲まれたロマンチックなたたずまいで、あたりにはまだ桜が咲いて山つつじが鮮やかで、新緑の美しさはまばゆいばかりでした。この地から見る富士山は、静岡側から見るより形がよく、雪を頂いた姿は息を呑むほど見事でした。二日間とも近くの温泉につかり郷土料理のほうとうをご馳走になりました。またユニークな別荘村の方々にも紹介していただき楽しいひと時を過ごしました。

Tさんはアラスカのマッキンリーの麓の広大な公園の中にお住まいで、お隣の家まで30キロも離れているそうです。熊やコヨーテや狼が遠くに散歩しているのが見え、秋には原野いっぱいにはベリー類が実って真っ赤になり、冬になればご自宅からオーロラが見えるとか。。。いつか行ってみたいと思います。

### 私のサーバスゲスト初体験の旅

京都市 K.K

今夏、7月19日～30日まで、イタリアへ初めての海外一人旅をしました。

憧れの北イタリア湖水地方のオルタサンジュリオで、サーバスのホームステイを初体験です。人口600人余りのアメーノの村にお住いのRさんのお宅は、オルタ湖から車で15分程の山の上、遠くにはスイスアルプスの山並みが見える山の村にありました。ここでの4日間はRさんとお孫さん、アオスタから来られていたイタリアサーバスの友人のUさんIさんのカップルとで、オルタ湖やマジョレ湖へのピクニック、村のお知り合いの素晴らしいお庭での夕食など、まるで私も家族のように、楽しく過ごさせていただきました。小さな、オルタ湖に浮かぶ、小さなサンジュリオ島の静けさと美しさに、心を奪われてしまいました。



フィレンチェで2泊したあと、ボローニャのPさん宅に。Pさんは弁護士さん、パートナーのRさんは会社員で、平日でお仕事しながら快く私を歓迎してくださったのには感激でした。ボローニャは欧州で一番古いボローニャ大学をはじめ、歴史のある町並み、街中が遺産の街。一泊の予定だったので時間がたらず、是非もう一度訪れたい素敵な街でした。

今回訪れた2軒のお家とも大きなお家でなくて、リビングの片隅や、階段の踊り場で寝るという体験でした。Rさんのところでは、シャワーが壊れていて、滞在中お風呂に入れませんでした。

今回のサーバスステイで感じたのは、comfortableなベッドがなくても、warm-heartがあればサーバスの交流はできるのだということでした。

サーバスステイはここまでで、このあと、中部マルケ州にある Jesi に住む友人を訪ねて4日間旧交を温めて、旅は終わりました。

## 3、トラベラー受け入れ報告

「ドイツからのお客様」

生駒市 O.Y

この夏、ドイツ人のP.Lさんを受け入れました。学校で働いていることを話して、地図を一枚送ってほしいとお願いしたら快く引き受けてくれました。ヨーロッパセンターの地図を黒板に張って、外国の人から見た日本ってこんな感じに見えるんだよって話したら結構興味を持って聞いていました。

今度はアメリカセンターの地図をどっかから手に入れようともくろんでいます。



オーギートラベラー受入れ

堺市 S.H

2012.7.8に、オーストラリアからのC.Fさん&Eちゃん親子を迎えました。Cさんらは、京都等を巡った後、我が町である堺市にいらっしゃいました。これはトラベル目的ではなく、フライングディスク

(いわゆるフリスビー)の国際大会に出場するためです。彼女は約十年前よりフライングディスクのチームに所属しており、精神科医の本業の傍ら、週末はスポーツに邁進しているとのこと。なお、今回は旦那様と息子さんは仕事等のため母国に残り、女性二人旅で来日したと仰っていました。当日午前は堺市の名所をご案内しました。堺市伝統産業館では、Eちゃんが我が家の息子と共に線香を成形する体験などをし、なかなか喜んでくれていたようです。午後からは、近くにお住まいのサーバス会員であるA様ご夫婦も我が家に合流くださり、色んな話を交えながら楽しいひと時を過ごしました。そして後日、人工湾岸スポーツ場のJ-Green堺にて、ご本人の出場するトーナメントが行なわれるとのことなので、観戦してきました。なるほど、この競技(正式名称はアルティメット)はなかなかユニークで、バスケットボールとラグビーとを組み合わせたような、1チーム7~8人で行う団体戦であり、相手ゴールにディスクを入れてその得点数を競うというものでした。マイナースポーツかと思っていましたが、さすがに国際大会だけあって、シニア部門、ユース部門、男女別、男女混合等、各種部門に分かれており、使用コート数も数十面と、かなりの数の人が世界各国より集まっていました。夏の暑い一時を家族で楽しませていただきました。



### フランス語でこんにちは

東大阪市 M.T

フランスからのご夫婦 A.S 8月9, 10日 受け入れ

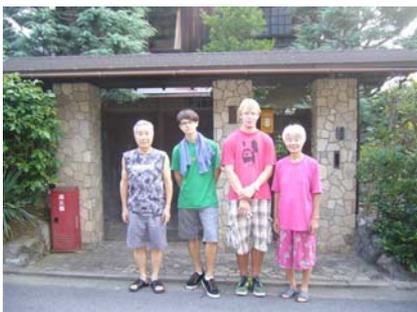
英語が得意でないとの事でメールのやりとりをフランス語でいたしました。ぼくのたよりないフランス語も役に立ったのか、駅からお電話をしてくれまして迎えに行きました。日本料理はお口に合わないようで少し困りましたが、翌朝、フランスの朝食をKが用意しまして、私たちも一緒に楽しみました。日本についての話題は東北地方の津波と福島原発事故、日本経済。フランス語の辞書を片手に質問に答えまして、少し疲れましたが、とても楽しかったです。夜には生駒山へドライブ。山上からは宝石箱を見るような夜景、そこで彼らは僕に質問、「日本は原発が止まって電力の供給が心配なのにこんなに大阪が輝いている！ 一体どうなっているのか」「電力の供給は心配ないのではないのか」僕も本当は電力の供給は心配しないではないかと思いますが、本当のことは解りませんが、彼らには正確な答えを話せませんでした。写真は生駒聖天さんへ同じ日の夜に行ったものです。



### 昔スタイルの旅行者

京都市 H.T

7月24~26日、ドイツから大学生、D君とJ君が来ました。彼らはヨーロッパからシベリア鉄道に乗り、韓国経由、船で日本に着きました。シベリア鉄道は冷房もなく、窓も開かず、暑い日中は大変だったそうです。京都の美山にはお知り合いがいられ、我が家に来られる前に、美山の自然と田植えを楽しまれました。彼らはお金が無い。外では何も食べていないのか、我が家の食事時にはもりもり一杯食べられます。京都の観光は歩いて行き、入場料の要る所



はそこまで行っても入らずです。そんな事がわかってからは、外出時はおにぎりを持たせてあげました。最終日は奈良へ行かれたのですが、「荷物はコインロッカーに預ける？」と聞くと、お金がいるから、又、ここまで取りに来ると言ってお出でいかれ、ヒッチハイクをして我が家まで戻って来られました。でも、彼らはとても良い人で、私にシベリア鉄道や美山での写真を見せていろいろ話をしてくれたり、私が食事の準備をしていると、”May I help you?”と声をかけてくれました。又、帰ってからも丁寧なお礼状が届きました。昔の若者は、お金が無くても意欲満々、世界何でも見てやろうとこういうスタイルが多かったのですが、今頃はJRパスを持ってスマートな旅が多いです。そんな中での彼らの登場はとても新鮮でした。

#### 4、会員交流「北から南から」

##### 「サーバスに入会して」

京都市 N.K

皆様初めまして。今年度入会をさせて頂いた N.K と申します。生まれと育ちは大阪の下町。現在は京都山科にある日本料理店で総務の仕事をしております。以前は福祉職(正式には精神保健福祉)に十数年携わってきましたが、ある理由から三年前にこの仕事に転職いたしました。



全くの畑違いの仕事、当所は戸惑いと共に新たな発見や経験がたくさんあり、それは日本文化の素晴らしさを今更ながら体感することに繋がります。日本は四季がはっきりしていて、それらを料理や部屋の設え、はたまた数々の製品、文学や音楽等で表現する。そこには日本人特有の繊細さや美意識が生まれ、今日の日本の発展(製品の品質の良さ、新たな物を発明する想像力、行き届いたサービス)に少なからず影響しているのではと思います。

少し話が逸れてしまいましたが、サーバスに入会したきっかけは既に貴会の長年の会員でもいらっしゃるTさんに「必ず勉強になり、楽しい旅が出来るから」とお声をかけて頂いたこと。

当初Tさんと、私と同じく今年度入会したN.Y(私の勤める日本料理店の女将でもあり伯母でもある)が、サーバスの制度を使った旅行を計画していました。私はこのお二人に頼まれ、航空機のチケットの手配することになりましたが、手配をしている内に元々旅行好きの私は「ミニホームステイが出来る？」と聞いていたので、無性に参加したくなり是非同行したいと申し出ました。

これが入会のきっかけなのですが、失礼ながら「サーバス？聞いたことないな？」という感じで入会させて頂きました。後で民間レベルでの世界交流の場である、また歴史ある会でもあるのだと知りました。

旅行が趣味の一つでもある私は、サーバスのような旅行(旅行会社のツアーでない旅)は二度経験があります。一回目は大学時代、母校の姉妹校、アメリカでの1カ月の短期留学。目的は表向き異文化と語学の勉強。本当はmaid in USAのUSEDギターを出来るだけ安く買って日本へ持ち帰ること。(真面目そうだとよく言われますが勉強は昔から苦手ですう・・・)お世話になったホストファミリーにも協力してもらい苦労して購入したギターは今でも宝物です。

次に現地で活動していた友人に誘われて行ったタイ北部のチェンマイから山間部に入った地域、山岳民族の子供や学生達へのボランティア。ボランティア等予め内容も聞かず勢いで参加しましたが、昔の時

代へタイムスリップしたかのように楽しかったです。

人生も半ばに入り、今までの人生を見つめ直したり、これからの人生、特に老いについて真剣に考えるようになってきました。上記のような新たな体験や感動をいつまでも得たい。そのような思いからもサーバスの活動で得られるような体験や出会いを求めているのかも知れません。また世界の生活習慣や文化、経済活動、道徳観を知ることにより、日本の素晴らしさや欠点も再認識することが出来るでしょう。これは日本料理店に携わる私にとっては重要なことだと思っています。

今回はマレーシアとインドネシアに、サーバスの制度を使った旅行に行って参りましたが当初の想像通り、様々な文化体験と出会いを得る事ができました。

また自分が異文化を体験するだけでなく、日本料理や日本文化の良さを世界に広めて行きたい、その為には英語力も必要との事で、再び苦手な勉強を試みようかとの思いにも駆られました。

今後も日本での活動も含め、楽しませて頂きたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

平成24年10月15日

始めまして、どうぞよろしく

京都市 O.Y

以前、Tさんがアメリカの女性を「茶の湯体験」に我が家にお連れ頂きました時、「サーバス」を知り、世界の民間同士で国際交流されている事に深く感銘し、いつか入会させて頂こうと思っていました。その後、冠婚葬祭が次々とあり、時が流れてしまいました。そして、Tさんが、6月3日のサーバス例会に声をかけて下さいまして、参加させて頂きました。At home な雰囲気、皆様の和やかな国際交流を直に見せて頂き、入会させて頂く事に決めました。

7月5日、始めて、オーストラリアから女性(精神科医、37歳)と娘(6歳)さんを day host しました。生憎、小雨でしたが、傘をさして知恩院から清水寺へゆっくり散策しながら案内しました。その後、我が家で茶の湯を楽しんで頂きました。そして、しばらくホテルで休んで、夕方、Tさんの計らいで、夕食を頂きながらホテル観賞をしました。袋にホテルを沢山もらって大喜びでした。

Day host をして、反省した事は、「世界の国々はその地理的条件によって、生活習慣、文化、歴史、そして国民性が大変異なる。迎える時、その国とゲストについて無知ではいけない。そして、日本をより深く知って頂けるよう努めなければいけない。」

これから、サーバス会員として、皆様にご迷惑をかけないよう、努力してまいります。宜しくご指導お願ひ致します。

## 5、お知らせとお願ひ

支部長

\* 会員の皆様には既にお知らせしていますように、次の要領でお楽しみ例会(堺市を巡る)を行ないます。ご家族、お友達誘いあって、多数ご参加ください。

- 1、日時 : 2012年11月17日(土)11:00~16:00位 集合時間 11:00
- 2、集合場所 : 南海高野線 堺東駅 南口 1階(エスカレーターを降りた所。商店街に続く大きな横断歩道あり)
- 3、コース : 堺東駅そばの市役所 21階展望台より堺全景展望 → 仁徳陵、堺市博物館(考古学好きの方には興味深いと思います) → 昼食(そばかうどん) → 南宗寺(禅寺) → 堺市旧市街(刃物ミュー

ジウム、豪商の邸宅、等)の見学(途中お茶菓子の喫茶店で休憩を挟みながら)、

4、観光中の交通手段： レンタサイクル、又は、バス1日券(路面電車も乗れるのでこちらのほうがお得かも)を使いたいと思います。1人でも自転車は困るという方がいられたら、バスにしたいと思いますので、参加者は(自転車で良い)(自転車は困る)をお知らせ下さい。

\* 支部総会を例年通り、大阪の弥生会館で12月9日(日)17:00より行ないます。詳細は追ってお知らせします。宜しくご予定下さい。

\* 今の役員は、今年で任期が終わります。再任は可能ですが、支部の事を少しでも一緒にしようと思われる方、どうぞ、役員をお願いします。特に、会報は今支部長が編集もしていますが、支部長が原稿を集めて編集はどなたかにして頂くようにしたと思いますので、これも宜しくお願いします。

\* 既にお知らせしていますように、日本サーバス創立50周年を記念して本を刊行しています。支部長の手元にありますので、ご購入を希望される方は、ご一報ください。製本版 1000円 CD 500円

\* サーバスユース会議・サーバス国際会議は本部から、ポーランドの観光は支部ニュースの特集号としてホームページにあげられます。掲載されたらお知らせしますので、そちらをご覧ください。